

# 穴沢大輔教授「刑法判例研究ゼミナール」

## 2023年度 ゼミ生の声

### 【はじめに】

こんにちは！2023年度ゼミ長の間宮楓太です。

このページでは、今年度の穴沢ゼミの様子をお伝えします。

法学部では、多くのゼミが開講されていて、どのゼミに入るか迷っている方も多いかと思いますが、みなさんのゼミ選びの参考になれば幸いです。

### 【穴沢ゼミの魅力】

今年度の穴沢ゼミは、法律学科(JU)6人・消費情報環境法学科(JC)3人・グローバル法学科(JG)1人の学生10人(男子4人・女子6人)+穴沢先生の計11人で活動しています。やや小規模なゼミですが、その分、学生間や先生との距離が近く、打ち解けやすく、仲の良いゼミだと思います。みんなで飲み会をすることもあります。穴沢先生はビールが大好きです。先生は、勉強の内容だけでなく、進路・私生活などの相談にも親身になって応じてくださいます。

先輩・OBとの交流の場があるのも穴沢ゼミの魅力です。いろいろな場所で活躍されている方々からリアルなお話を聞くことができます！

### 【活動内容】

春学期は、各々が判例を選び、関連する判例・学説などを調べて報告し、他の学生はそれを踏まえて、判例に賛成か反対か分かれて話し合い、意見を出し合って議論を展開していました。

判例は、刑法総論・各論の判例のみならず、著作権法や独占禁止法に関する判例を選ぶ学生もいました。「どんな判例を選べば良いのだろう…?」「調べていてわからないことがあったらどうしよう…?」と思うかもしれませんが、穴沢先生がしっかりとアドバイスして下さります。最初は、難しく思うかもしれませんが、慣れてくれば、どういうところが問題になっているのかつかむことができますよ！

夏休みには、2泊3日のゼミ合宿を行いました。今年度は、学生の意見も踏まえて、福井と名古屋を訪れました。福井では、福井刑務所・福井少年鑑別所を見学し、名古屋では、南山大学・水留ゼミとの合同ゼミを開催しました。福井・名古屋のご飯やお酒を楽しんだり、南山大学・水留ゼミ生と一緒に名古屋観光をしたりと充実した合宿になったと思います。

また、小島ゼミと合同で多摩少年院を見学しました。

刑事施設を実際に見学することができるのも刑法ゼミならではの魅力だと思います。

秋学期は、教室を法廷教室に変え、各々が選んだ判例に対し、学生が検察側・弁護人側に分かれて、模擬裁判に近い形で、春学期よりも、発展した議論をしています。

### 【おわりに】

「刑法は、面白くない…。苦手だ…。」という方もいると思います。なんとなくつかみどころがなく、わかりにくいかもしれません。しかし、一つ一つの事例をゼミ生のみんなとワイワイと意見を出し合いながら、しっかりと検討すると、「こんなことが問題になっていたのか!」と、わかるようになってきて、意外と面白く感じてくるものです。

穴沢ゼミでしかできない体験を楽しんでみませんか？

### 【ゼミの様子】



秋学期・法廷教室にて



夏合宿・南山大学にて